

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	日本語初級文法
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	一般教育科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	みんなの日本語初級1・2 書いて覚える文型練習帳 中級へいこう					
担当教員	兵藤 桃香					
到達目標						
この科目は長岡高専の教育目標の（B）と主体的に関わる。この科目の到達目標と成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連性を以下の表に示す。 1) 日本語でコミュニケーションを図る態度を身につけることができる。50% (b3) (b4) 2) 既習文型や語彙を用いて的確に自己表現することができる。50% (b3) (b4)						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本語でコミュニケーションを図る態度を身につけることができる。		既習した内容を用いて自ら積極的に発言しようとする態度がある。	既習内容を概ね正しく使用し発言しようとする態度がある。		左記に達していない。	
既習文型や語彙を用いて的確に自己表現することができる。		既習内容を用いて自己表現が状況・相手に対応できる。	既習内容を用いて自己表現が状況・相手に概ね対応できる。		左記に達していない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本語の基礎（初級レベル）の4技能（聞く能力・読む能力・話す能力・書く能力）をバランスよく伸ばす。特に、聞く・話す活動を授業中に多く取り入れ、読む・書く活動は宿題などで補うようにする。積極的にコミュニケーションを図れる活動を取り入れ学習を進める。					
授業の進め方・方法	日本語初級文型の習得を目指す。 時間が限られるため毎日課題を与え、小テストを実施する。授業時間内では会話や自主学習を補うような工夫を施す。 ※内容は学生の能力に応じ適宜変動の可能性あり					
注意点	1. 遅刻・無断欠勤及び飲食厳禁 2. 予習をしてくること 3. 宿題を提出すること 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オンライン日本語テストで実力チェック みんなの日本語 L26・27			
		2週	みんなの日本語 L28・29			
		3週	みんなの日本語 L30・31			
		4週	みんなの日本語 L32・33			
		5週	みんなの日本語 L34・35			
		6週	みんなの日本語 L36 中間試験範囲復習			
		7週	前期中間試験			
		8週	みんなの日本語 L37・38			
	2ndQ	9週	みんなの日本語 L39・40			
		10週	みんなの日本語 L41・42			
		11週	みんなの日本語 L43・44			
		12週	みんなの日本語 L45・46			
		13週	みんなの日本語 L47 JLPT N4受験			
		14週	みんなの日本語 L48 復習			
		15週	前期末試験			
		16週	試験解説と発展授業			
後期	3rdQ	1週	前期内容の総まとめ みんなの日本語 L49			
		2週	みんなの日本語 L50 初級範囲総まとめ			
		3週	中級へいこう L1			
		4週	中級へいこう L2			
		5週	中級へいこう L3			
		6週	中級へいこう L4			
		7週	後期中間試験			
		8週	中級へいこう L5			
	4thQ	9週	中級へいこう L6 JLPT N3受験			
		10週	中級へいこう L7			
		11週	中級へいこう L8			

		12週	中級へいこう L9	
		13週	中級へいこう L10	
		14週	総復習	
		15週	後期末試験	
		16週	試験解説と発展授業	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前7
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	

評価割合

	まとめ試験①	まとめ試験②	後期中間試験	後期末試験	小テスト	出欠席	課題	合計
総合評価割合	15	15	20	20	10	10	10	100
基礎的能力	15	15	20	20	10	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0